

お客さまへのメッセージ

取締役常務執行役員
松岡 信行 (営業統括担当)

魔法のことは 「ありがとう！」

「〇〇さんにはうちのメンバーがいつも細々したことまで相談に乗っていただき、助かっています。ありがとうございます。本当に感謝しています。」

先日、お客さまの幹部の方より、お褒めの言葉を頂きました。現場で懸命にご支援しているメンバーを、名前を挙げて褒めていただくことは、私共にとってこの上ない喜びです。一方で当人に聞いてみますと、「お客さまが、私との会話に時間を割いてくださるので、お蔭で仕事が進んでいきます。私の方こそいつも感謝してます！」とのこと。お客さまと感謝し合える関係であることがうれしく、心豊かな気持ちになりました。

私たちは、お客さまの成功への貢献を目指して仕事に取り組んでいます。そして、サービスや商品を通じてお客さまにご満足いただき、パートナーとして、永くお付き合いいただけることが最高の幸せであると、常々感じております。パートナーとして信頼していただくためには、お客さまとのコミュニケーション品質の向上が極めて重要です。



人間関係をもっとも円滑にするのは、「感謝」の気持ちであると言われていています。感謝の心をはぐくみ、感謝する気持ちを習慣化するために、弊社では3年半前より、朝礼で「感謝」をテーマにした発表を続けることで、コミュニケーション品質の向上を図ってきました。この朝礼が、メンバーとお客さまとの関係を少しでも深め、広げる起点になればと思っています。

今年度のJ Bグループのテーマは、『誰かの「ありがとう」につながるITを届けよう』です。

「ありがとう」は、お客さまとのコミュニケーションと共感の深さを測る“バロメーター”であり、私たちに大きな喜びをくれる魔法のことはです。

クラウド、モバイルなど、お客さまとの接点の形が変化していく時代の中でも、原点を忘れずに、「ありがとう」をたくさんのお客さまとともに重ねていけますよう、今後も、より価値あるサービスや製品を追求し、ご提案してまいります。

「エコ塾」でプレゼン 『ITでeco!』

5月14日、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）さま及び、九州経済産業局さま主催の「エコ塾」にてプレゼンをさせていただきました。

「エコ塾」とは、環境ビジネスの創出、ビジネスマッチング、人脈形成を目的とし、毎月1回行われる、環境ビジネスに特化した異業種交流会です。

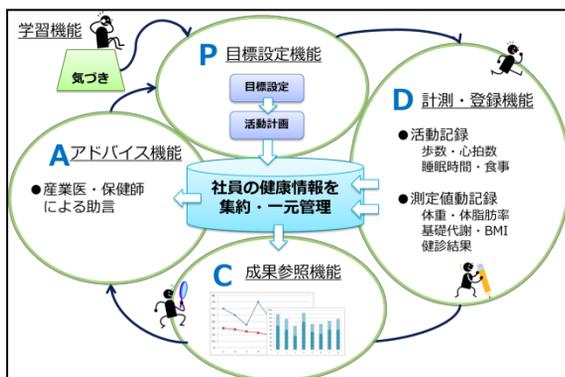


満席の会場でプレゼンする西野

5月のエコ塾のテーマは「IT×環境」ということで、さまざまな環境ソリューションや導入事例について、弊社環境ソリューション推進室の歩みと共に、ご説明させていただきました。

- ① IT業としての生き立ち・得意技～製造業様向けソリューション・インフラ構築事例
- ② 環境に取組むきっかけ～産廃処理業様向けソリューション
- ③ その後の展開～資源循環ソリューション・実証事業事例
- ④ 新たに取組んでいるテーマ～健康管理ソリューション

プレゼンの最後にご紹介した健康管理ソリューションは、現在、弊社社員の健康プロジェクトでも使用しているものです。今回のプレゼンでは、このプロジェクトに参加しているメンバー全員が、実際に毎日身に着けているウェアラブル活動量計についてもご紹介しました。すると、多くの参加者の方が興味を持ってくださり、ご質問やご意見などをたくさん頂戴することができました。



健康管理ソリューションの概要

今回のプレゼンは、毎年10月に出版しているエコテクノ展で、私たちのプレゼンをご覧になったK-RIPの方からお声掛けいただき、実現したものです。

このご縁に感謝して、これからもさまざまな情報交換を行わせていただきながら、みなさんと力を合わせて、九州地域の環境問題解決に、取組んでいきたいと思っております。

北九州市「賑わいのまちづくり」の中心

北九州商工会議所



北九州商工会議所さま

■地域経済活性化の中心として

北九州商工会議所さまは、昭和38年の旧五市合併による北九州市誕生に伴い、5商工会議所（門司・小倉・若松・八幡・戸畑）の対等合併という、全国商工会議所史上稀な広域都市の商工会議所として誕生しました。商工会議所は、地域経済社会のけん引役として主に中小企業をバックアップし、活力ある地域社会実現をはかる地域総合経済団体で、全国514会議所の中において北九州商工会議所さまは、約8,400の会員企業・団体を抱える大規模な商工会議所の一つです。

運営組織は地域経済界に支えられており、地域企業から選出された議員が意思決定に関わり、会頭・副会頭等の役員層はその議員の中から選出されます。小説「海賊と呼ばれた男」のモデル、出光興産創始者の出光佐三氏も前身の門司商工会議所の会頭を務められました。このように地域経済界の中心を担う有力企業と協力しながら、「ものづくり」の北九州経済界のリーダーとして日本の近代産業黎明期から長きにわたって重要な役割を担っておられます。



当時の会頭出光佐三氏の音頭により始まった「門司みなと祭り」の様子

■商工会議所業務のIT化推進けん引役として

北九州商工会議所さまはインターネットの普及期以前から、業務効率化や会員サービス向上を目的としたIT適用を自所内にて積極的に推進し、業界内では早い段階で高いレベルのITガバナンスを実現されました。また同じような業務課題を抱える他会議所に、自会議所の改善経験をもとに業務のIT化促進を訴え、同様のIT適用経験を持たれている全国のいくつかの会議所ともタッグを組みながら、業界のIT環境の向上と業務効率化をリードされています。

■担当より

18年前に会員管理システムをご採用いただいて以来、その現状改善への意欲的な取り組み姿勢に感化されながら、現在では財務管理や企業情報のマッチングを行うWebサイト等、様々なシステムを開発・導入させていただきました。今後も地域経済の中心である商工会議所のIT推進をしっかりサポートすることで、地域活性化のさらなる促進と、その先の日本経済活性化に少しでも貢献できるよう、努力を継続します！

(SI&S SI推進部 松田 真吾)

準備完了？ マイナンバー対策

2015年10月からマイナンバーが通知され、2016年1月から利用が開始されます。細かいルールについては未決定の部分がありますが、できることからマイナンバー対策を進めておくことが重要です。

しかし世間では、マイナンバー対策について、さまざまな情報があふれており、弊社のお客さまでも、特に人事部門を中心に、

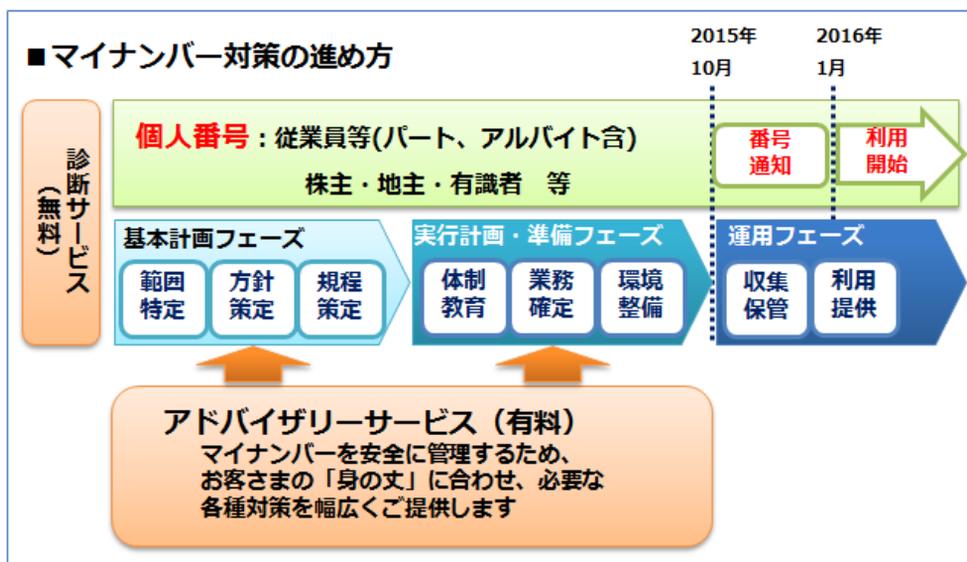
「具体的にどんな対策をすればよいのかわからない！！」

「ITインフラの面で、セキュリティ対策をどうしたらよいか、見当がつかない」

「社会保険労務士のアドバイスが欲しいが、顧問契約がなく相談できない」

など、お悩みの方がたくさんいらっしゃいます。

そこで弊社では、お客さまの実業務をお伺いし、そのお客さまにぴったりのマイナンバー対策をご支援するサービスを開始しました。



公的資料のマイナンバー対応はもちろん、社内でのマイナンバーの取扱いや、保管サーバのセキュリティ対策など、さまざまなお困りごとについてもご相談をお受けし、必要であれば、弊社提携の社会保険労務士とともに、お客さまの問題を解決します。

ぜひ、弊社の営業担当者まで、お気軽にご相談ください。 (ビジネス推進部 西野 幸)

◆◆ マイナンバー対応策セミナーのお知らせ ◆◆

漏れのない実務対応のために、マイナンバー法の多岐にわたる対応策や留意点をわかりやすくご理解いただけるようポイントを絞って解説します。是非、貴社のマイナンバー対応にお役に立てください。

日 時：2015年7月15日(水) 14:00より
場 所：株式会社ソルネット 2F会議室
主 催：ピー・シー・イー(株) / (株)SOLNET

最適なソリューションをお届けします！

こんにちは。私たちは、元気！健康！笑顔！の医療ソリューション部です！！

医療ソリューション部はその名のとおり、病院・看護学校等の医療に関わりのあるお客さまを中心に、ITソリューションを提供させていただいています。お客さまのご要望にも素早くお応えできるよう、営業・インフラ・アプリケーションそれぞれの精鋭が、三位一体となり、アイデアを出し合いながら日々活動しています。

私たちは、数あるサービス・製品の中から、お客さまにとって最適なものを選定し、ご提供することを得意としています。自社メンバーだけでなく、協力会社さまとの幅広いリレーションシップにより、お客さま業務を強力にサポートします。また、独自にアプリケーション開発も行っています。最近では、バイタルサイン（体温・血圧等）の測定機器から、NFC通信



上左から順に、眞有、堤

下左から順に、安河内、村上、津田、大森、佐藤、西川計8人の組織です！

低減」「データ品質の向上」といった点でご好評いただいています。

私たち医療ソリューション部は、お客さまへ、常に新しいご提案ができるよう心掛けています。ITに関することは、私たちに是非お任せください！

（医療グループ 西川 直輝）



★メンバーからの一言★

- 津田 智之** 未来の医療を担います。ぜひ、使ってみてください。ソルネット 医療ソリューション部
- 眞有 明弘** 医療IT関係のご要望、課題解決に全力で取り組みます
- 佐藤 中** 新任の営業担当です。誠実に責任感を持ってご対応致します
- 安河内 博明** 仮想化～クラウド、ITインフラの事はどんなことでもお任せください
- 堤 修一** 最年長！豊富な知識でチームをサポート。若いパワーに負けません！
- 大森 毅** 迅速かつ正確な対応で、お客さまの身近な存在を目指します
- 村上 登志也** 機動力を発揮してお客さまのご要望へ対応します
- 西川 直輝** お客さまのITの健康と、自分の健康を守ります（笑）

※1：NFC（Near Field Communication） 13.56MHzの周波数帯を使用した近距離無線通信規格

みんないっしょにいるからこそ

私たちの仕事は、「毎日同じことをする」ということがありません。IT技術の進歩はもちろんですが、お客さまによって、またプロジェクトによって、環境や言語やツールも違えば、それに必要な業務知識もスキルも、「いつも同じ」ということはほとんどないのです。

そのため、これまでに経験がないものや、難易度が高いご要望にも出会います。例えば、「ウェアラブルデバイスで、毎秒の心拍数を取りたい」、「今流行のサイバー攻撃対策をしておきたい」、「マイナンバーどうしていいか教えてほしい」などの多岐にわたるご要望です。

そんな時、本社メンバーであれば、ちょっと首を伸ばして、フロアを見渡します。昨年度から営業と開発SE、サービスのエンジニアが、みんな同じフロアに座っているため、何かあれば、すぐ関係者同士が集まって相談できるのです。

また、「この案件ならこの人！」と、聞く相手も決まっています。弊社では、セキュリティならあの人、製造業の業務知識はこの人というように、開発基盤、最新技術、仮想技術と、さまざまな分野において、たいてい「スペシャリスト」がいるからです。それは決して上司の指示でそうなったわけではありません。ひとり一人が、「自分の得意な分野の第一人者であること」を自分のミッションとしてとらえているからです。その知識は、いつか必ず他のメンバーの大きな助けとなって、本人の自信を育み、さらに大きく、その社員のスキルを磨いていきます。



ひとりでできることはちっぽけですが、このように、メンバーみんなで力を合わせると、大きな力になって、いろいろな困難を解決することができます。この力を元に、さらに新しいことや楽しいことに、みんなでチャレンジしていければと思います。

(Y.Nishino)

編集後記

社内健康プロジェクトで脈拍センサーがついた活動量計を装着して3ヶ月。普段は「健康でいるために運動しなきゃ！」と思ってもできないことが多いのですが、活動量計でカラダの状態が数値化されるので、日常生活でも“体を動かす方”を選ぶようになってきました。たくさん歩いた時の活動結果を見るのも楽しく、気分よく続いています！

(K.K.)

